

「食の安全守れ」もとむら氏 外国産原料・ポテチに残留農薬 衆院消費者委

日本共産党のもとむら伸子衆院議員は5日の消費者問題特別委員会で、輸入米と外国産の原材料のポテトチップスから日本で使用が禁止されている農薬が検出された問題をとりあげ、国産の安全な食料生産の重要性を訴えました。

もとむら氏は、農民連食分析センターの検査で、ベトナムと台湾産のコメから日本で使用禁止の農薬が検出されたと指摘。「安全な日本産のコメを食べたいのが消費者の思いだ」として日本の農業を守る必要を強調しました。

さらに、米国などからの輸入ジャガイモを原料に含む市販のポテトチップス8製品のうち6製品から複数の残留農薬が検出されたと指摘。

もとむら氏は、政府の農薬残留基準の前提となる1日の摂取量について、フライドポテトやポテトチップスなどは、その何倍も摂取するケースが多い

として、「安全性を再評価するべきだ」と求めました。

また、米国は日本への生ジャガイモの全面輸入解禁を狙っている。米国は日本で使用が禁止されている農薬を長距離輸送での品質維持のため収穫後に散布しているほか、病害虫が持ち込まれれば、日本のジャガイモ栽培に甚大な被害を及ぼす恐れがあるとして全面解禁の中止を求めました。

根本幸典農水副大臣は「病害虫の侵入により国内産地への影響が生じないよう科学的に協議したい」と述べました。



もとむら伸子氏
ドポテトや
ポテトチップスなどは、
その何倍も
摂取するケ
ースが多い



平和のともしびウォーク・名古屋にもとむら氏

もとむら伸子衆院議員は太平洋戦争開戦の12月8日に名古屋市内で毎年行われている「平和のともしびウォーク」に参加しました。190人が、市内5カ所から行進し、今池西公園(千種区)で全体集会が行われました。もとむら議員は昭和区コースに途中から参加し、参加者と「二度と戦争を起こさせない！」と声を上げました。



右から3番目がもとむら議員

2027年統一地方選 予定候補者 (第1次)

県議選(定数=現有)

静岡県(68=0) 定数	氏名	年齢	現新	
静岡市葵区	5 鈴木せつ子	70	元	元静岡県議
浜松市中央区	12 小黒耕平	45	新	党西部地区医療・福祉対策責任者

愛知県(102=1)

豊橋市	5	しもおく奈歩	38	現	愛知県議
一宮市	5	かわえ明美	60	新	党県書記長

三重県(48=1)

津市	7	吉田あやか	28	現	三重県議
----	---	-------	----	---	------

政令市議選(定数=現有)

浜松市(46=3)

中央区	34	氏名	年齢	現新	
		小黒けい子	73	現	浜松市議
		吉川奈緒子	65	新	党西部地区ジェンダー平等対策責任者
		村田優哉	27	新	党西部地区青年対策責任者

名古屋市(68=3)

北区	5	岡田ゆき子	60	現	名古屋市議
西区	4	加藤ゆうき	46	新	党北西地区准地区委員
中川区	6	江上ひろゆき	70	元	元名古屋市議
南区	4	高橋ゆうすけ	47	元	元名古屋市議
緑区	7	みつなか美由紀	60	現	名古屋市議
名東区	5	鈴木あやこ	28	新	党名東区ジェンダー平等・人権委員会責任者
天白区	5	田口かずと	67	現	名古屋市議



志位和夫議長と
斎藤幸平氏の対
談動画(一部)を
視聴しました。

生協労働者のつどい——もとむら議員の熱い訴えに元気もらった
もとむら伸子衆院議員は7日、愛知の生協労働者のつどいで参加者と交流しました。15名が参加しました。

もとむら氏は補正予算が軍事優先で国民を守る支援が不十分なことを批判し、国会活動や参加者の質問に答えました。また、生協労働者に向けて「食の安全や日本農業を守るために力を合わせたい。平和と核兵器廃絶の取り組みと一緒に頑張りたい」と話しました。

集いの後半は、

ブロックいっせいで15日(月)を成功させよう
大軍拡ノー！ 衆院定数削減を許すな！